

～ タイムリーな情報を、いち早く皆様にお知らせします ～

◆日本の商品は10分の1のマーケット

日本の商品は世界の中の富裕層が占める約1/10のマーケットでしかビジネスできないと見ておきたいです。例えば、医療でも高い費用をかけて海外から日本に診察・手術・医療を受けにきています。「日本」はまだ高級ブランドというイメージがあります。日本の高級ブランドイメージを持続させるためには早く産業を育て広げていく必要があります。「基本機能」に「魅力機能」を加え、高付加価値化がどのような形でどのようなところで進んでいるのか・進めるのか、どのように取り組むのかを検討する必要があります。

◆7月度ホーチミンビジネス交流研究会

「従来の日本産業を機械的に継承するのではなく、魅力機能をプラスせよ！」

日本の会社、日本人にとっては、基本機能を満たすのは当たり前で、ここに欠落があれば現代では存在できなくなります。

ベトナムであっても過去からの延長的事業の展開では生きて行けない時代になっています。魅力機能をどれだけ提供できるかで雲泥の差が出ます。魅力機能は相対的概念なので、提供する相手をよく捉える努力をしていないと、提供する側が提供していると思っても魅力機能になっていないことがあります。



◆むれ源平「石あかりロード2014」が始まります

8月9日(土)から9月21日(日)の毎日夕暮れから22時まで高松市の「ことでん八栗駅」から「源平史跡 駒立岩・折り岩」までの約1kmの旧庵治街道沿いで沢山の石あかりが点灯されます。期間中は様々なイベントが催されますので詳しくはホームページをご覧ください。

<http://www.ishiakari-road.com/>



◆三世代の社会づくりの必要性

人生50年がいまや「人生80年」時代になっているにもかかわらず、いまだ50歳からを「残りの人生」ととらえており「快適に生きる」生き方や社会づくりという視点での問題のとらえ方が出来ていないようです。これは、50歳以上の人の問題だけでなく、社会の在り方についての根本的な問題提起とするべきものでもあり、我々は大きくは「三世代の社会づくり」の一環として位置付けていかなければならない問題としてとらえています。

差し当たっては「快適な生き方」をバックアップすることの重要なサービスとして、「病気の不安を取り除く」「病気の制約から解放する」「快適なエンディング環境を提供する」ことを目指した医療サービスの在り方について検討する必要があると考えています。これは社会制度を再構築するという視点ではなく、「快適な生き方」をサポートする医療サービスビジネスの開発・整備・充実という視点から社会的価値の創造ということで取り組んだ方がより望ましいモノが早期実現出来るように思います。

ここにも新時代にあったビジネスの在り方が問われており、機能と利便性だけでなく、海外化・高付加価値化がどこまでできるかが勝負となりそうです。

◆会社の「工数とお金」は無限に要る

○始末して使う基準や考え方が大切

始末して使う基準や考え方を会社に所属している人々がきちんと理解し考働することが必要です。

○全く使う方向が違う2つのお金と工数

稼ぐために使うお金と工数が基本であり、会社を運営するために使うお金と工数は最小限にする必要があります。

○お金と工数は将来のために使う

稼ぐために何に役立つのかを具体的に描くことで無駄使いを防ぐ必要があります。

○必要悪のお金と工数

会社を運営するために使うお金を最小限にするには、まずこのようなお金や工数は、必要悪だという基本的な考えが必要です。稼ぐ会社を運営するために絶対必要かという視点で、それぞれの必要悪のお金と工数を考え、最小限の使い方に知恵を絞る必要があります。

詳しい記事やその他の情報は、BSOのホームページ <http://www.bso.co.jp> へ

情報てんこもりは、弊社の協働活動(受託事業・企画事業・出版事業)のタイムリーな情報をいち早く多くの方々に知っていただく為に発信しております。(お問い合わせは shienkikaku@bso.co.jp まで)